

日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 令和5年度 第5回 常任幹事会レポート



去る令和6年2月19日(月)に開催された標記会議内容についてお知らせします。

議題 1. 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 認証制度について

事務局から、「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」認証制度の運用基本方針及び運用開始に向けた手続きフロー案と規程案について説明し、意見聴取を行った。

今後は意見を基にワーキンググループにて協議し、改めて常任幹事会で諮ることとなった。

〈主な意見〉

- 認証制度の申請方法は登録制度と同様となるのか。

【事務局より上記に関する回答】

登録制度は都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(以下「都道府県協議会」という。)が審査まで行っているが、認証制度については、都道府県協議会は申請を希望するクラブの取りまとめだけに留め、審査機関(外部機関)にて審査するフローで検討している。

- 事務局案の通り、都道府県協議会が申請クラブを取りまとめ、審査機関が一括して認証審査を請け負うのが良いと考える。
- クラブはどのタイミングで申請をするのか。登録制度と同じタイミングで申請するのか。
- 登録制度と認証制度で何度も取りまとめを行うのは都道府県協議会の負担になるのではないのか。
- 登録審査期間が終わる2月末以降に、登録認定されたクラブから認証の申請を募ってはどうか。
- 登録クラブが認証を申請してくるのが前提であるため、登録と同じタイミングで認証の申請を募り、都道府県協議会での登録審査が終わってから、登録認定されたクラブのみ審査機関へ認証の申請をするか、もしくは認証の申請を受け取った時点で都道府県協議会から審査機関へ申

請をし、登録審査後に登録不可となったクラブの認証申請を取り下げるといった手順のどちらかになるのではないかと。

- 認証制度の認定開始はいつになるのか。行政の事業を受託する場合は年度での契約となる。今後、行政が認証クラブにのみ事業を受託するなどの条件が出てきた場合、4月1日の認定では間に合わない。
- 審査機関での審査にはどのくらいの時間が必要なのか。登録期間の期中に次年度の認証の可否が決定する方が良いのではないかと。
- クラブのこれからの取組を後押しするための認証なのか、クラブの取組実績に鑑みた認証なのか、共通理解を持たなければならない。
- 認証制度が行政のクラブの信頼性を図る一つの基準となるのであれば、今までの実績に鑑み、更に取組を進めるクラブであるかどうかを審査すべきである。
- 資料記載の「タイプ別認証の分野に取り組んでおり、これから実績を積み更なる発展を目指すクラブ」では、今までの実績があるクラブということが読み取れない。「ある程度実績がある」ということがわかる記載が必要。
また、今後は認証の更新の枠組みも考えていかなければならない。
- 「タイプ別認証の分野に実績があり、更なる発展を目指すクラブ」という表記ではどうか。

議題 2. ブロック別クラブネットワークアクション 2024 共通プログラムについて

事務局から、ブロック別クラブネットワークアクション 2024 の共通プログラムの内容について意見聴取を行い、意見を基に内容を再考し、再度常任幹事に連絡することとなった。

また、次代(特に若者)の参加者を増やすことを目的に、主に事業の周知を行う各ブロックの実行委員に対し、北海道ブロックと北信越ブロックで行った若者プロジェクトについての事例共有を行う。

〈主な意見〉

- 若者の参加を募るために、事前に北海道、北信越ブロックの事例を実行委員へ共有することで内容のイメージができて良いのではないかと。
- 実行委員会の際に2ブロックの事例を紹介し、特に若者への周知につなげてもらってはどうか。
- ネットワークアクションに参加することで、自身の都道府県を超えて、困った時に相談できるような関係が築ける。まずは参加してもらうことが重要である。
- 北海道ブロックでは元々次代を担えるような参加者は多い方であると思うが、「参加」から「参画」をしてもらうことが必要だと考える。

議題 3. その他(第2回総会の取り進めについて)

事務局から、令和5年度SC全国ネットワーク第2回総会の取り進めについて、資料をもとに説明し、承認された。